



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月4日

上場会社名 ナガイレーベン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7447 URL <https://www.nagailen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤登 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山村 浩之 TEL 03-5289-8200
 四半期報告書提出予定日 2023年4月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	7,931	1.5	1,859	△8.7	1,890	△9.3	1,295	△9.6
2022年8月期第2四半期	7,817	△3.1	2,035	△10.5	2,084	△10.3	1,433	△10.1

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 1,272百万円 (△3.2%) 2022年8月期第2四半期 1,315百万円 (△23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	40.16	—
2022年8月期第2四半期	43.63	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率は当該会計基準等適用前の2021年8月期連結業績と比較し増減率を計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	45,785	41,610	90.9
2022年8月期	47,347	42,255	89.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 41,610百万円 2022年8月期 42,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2023年8月期	—	0.00			
2023年8月期(予想)			—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	2.6	4,574	△9.1	4,638	△9.8	3,164	△16.2	98.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	35,736,000株	2022年8月期	35,736,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	3,467,061株	2022年8月期	3,475,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	32,262,588株	2022年8月期2Q	32,867,529株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年4月5日（水）にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、事前に録音した音声による説明内容を当日使用する四半期決算説明資料とともに、決算説明会当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
3. その他	11
販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和され、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた社会経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融不安に伴う急激な為替の変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療・介護を取り巻く環境としましては、年末年始期間のコロナとインフルエンザのウイルス感染拡大が懸念されましたが、大きな混乱には至らず比較的安定的に推移したものと見られます。また3月にはマスク着用の緩和、5月からは新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2類から5類へ変更などの決定を受け、当環境はウィズコロナ・アフターコロナに向け着実に進みつつあります。

メディカルウェア市場におきましては、当該商品が実用消耗品であることから更新需要に対するコロナ禍の影響は年々小さくなり、落ち着きを取り戻しました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の売上は、前年同期比1.5%増の7,931百万円となりました。第1四半期連結累計期間は、前々期の厚生労働省への感染対策商品の納入による一時的特殊要因があったため、その反動で前年同期比12.5%減と大幅な減収となりました。第2四半期連結会計期間は、コア市場、周辺市場ともに大幅な増収となった結果、前年同期比12.1%増と第1四半期連結累計期間の減収分を補い、当第2四半期連結累計期間において前年を上回る売上を達成することができました。特にコア市場における新コンセプトブランド「EARTH SONG」の販売が好調に推移し、増収に大きく貢献いたしました。

なお、前々期の厚生労働省向け一過性売上の特殊要因を除くと、前期に引続き過去最高の売上となります。

利益面におきまして、期初での今期見通しでは、「原油相場高騰による原材料価格の急激な高騰」「物流費および人件費の上昇」「為替相場での円安急進などの外部環境の急変」など、原価への影響が大きく懸念され、当第2四半期連結累計期間の売上総利益率は41.5%を計画しておりましたが、海外生産比率の引き上げ、為替先物予約による安定化、海外物流状況の沈静化、商品価格の改定などの収益性の改善により、前年同期比1.8ポイント減の42.9%となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、新型コロナウイルス感染症に関連し、医療機関への訪問規制が緩和し、国内外での営業活動の回復により、旅費交通費及び展示会費が増加し、前年同期比6.1%増となりましたが、計画比では4.1%減となりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、7,931百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は1,859百万円（同8.7%減）、経常利益は1,890百万円（同9.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,295百万円（同9.6%減）を計上いたしました。引き続き、通期の連結業績予想達成に向けて、価格改定を予定通り2月より実施し、販売体制の強化と将来の成長に向けた基盤整備を進めております。

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は45,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,562百万円減少いたしました。流動資産合計は37,376百万円となり1,525百万円減少し、主な要因は、現金及び預金の減少2,950百万円、電子記録債権の減少448百万円、受取手形及び売掛金の増加946百万円、棚卸資産の増加918百万円等でありま
す。固定資産合計は8,408百万円となり、36百万円減少いたしました。その内訳として有形固定資産は7,303百万円となり78百万円減少、無形固定資産は59百万円となり2百万円増加、投資その他の資産は1,045百万円となり38百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ918百万円減少いたしました。流動負債合計は3,150百万円となり898百万円減少し、主な要因は、未払法人税等の減少415百万円等であり
ます。固定負債合計は1,024百万円となり、19百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は41,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ644百万円減少いたしました。主な要因は、配当の実施による1,935百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益1,295百万円の
計上による増加等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の89.2%から90.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ850百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は877百万円（前年同期は56百万円の使用）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,889百万円（同2,077百万円）、減価償却費132百万円（同142百万円）等による増加と、法人税等の支払額1,014百万円（同911百万円）、棚卸資産の増加額918百万円（同725百万円）、
売上債権の増加額739百万円（同696百万円）等による減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は1,965百万円（同2,462百万円）となりました。

主な要因は、定期預金の預入に対する払戻の超過収入2,100百万円（同2,500百万円）等による増加、有形固定資
産の取得による支出117百万円（同48百万円）等による減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,935百万円（同1,970百万円）となりました。

これは、配当金の支払額1,935百万円（同1,970百万円）による減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2022年10月3日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,560,650	25,610,347
受取手形及び売掛金	2,992,165	3,939,031
電子記録債権	2,247,492	1,798,760
棚卸資産	4,886,229	5,804,581
その他	216,314	224,260
貸倒引当金	△528	△576
流動資産合計	38,902,323	37,376,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,577,063	2,572,926
機械装置及び運搬具(純額)	193,461	178,658
土地	4,440,815	4,440,815
建設仮勘定	52,855	—
その他(純額)	117,679	111,278
有形固定資産合計	7,381,874	7,303,679
無形固定資産	56,991	59,846
投資その他の資産		
投資有価証券	173,855	171,633
その他	834,733	875,307
貸倒引当金	△1,800	△1,800
投資その他の資産合計	1,006,789	1,045,140
固定資産合計	8,445,654	8,408,666
資産合計	47,347,978	45,785,070
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,607,931	1,772,194
未払法人税等	1,055,531	640,215
賞与引当金	88,670	82,573
その他	1,296,460	655,212
流動負債合計	4,048,594	3,150,196
固定負債		
役員退職慰労引当金	33,610	35,370
退職給付に係る負債	633,951	614,669
その他	376,561	374,471
固定負債合計	1,044,123	1,024,511
負債合計	5,092,718	4,174,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	1,922,827	1,930,127
利益剰余金	42,532,681	41,892,806
自己株式	△4,151,203	△4,140,746
株主資本合計	42,229,578	41,607,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,303	65,161
繰延ヘッジ損益	43,295	13,015
退職給付に係る調整累計額	△84,917	△75,274
その他の包括利益累計額合計	25,682	2,902
純資産合計	42,255,260	41,610,363
負債純資産合計	47,347,978	45,785,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	7,817,358	7,931,902
売上原価	4,325,427	4,527,850
売上総利益	3,491,931	3,404,051
販売費及び一般管理費	1,456,146	1,544,574
営業利益	2,035,784	1,859,477
営業外収益		
受取利息	1,350	2,344
受取配当金	7,945	2,488
受取賃貸料	44,243	44,218
為替差益	4,885	—
雑収入	9,129	9,700
営業外収益合計	67,555	58,752
営業外費用		
固定資産賃貸費用	18,934	21,187
為替差損	—	6,190
雑損失	165	419
営業外費用合計	19,099	27,797
経常利益	2,084,241	1,890,432
特別利益		
固定資産売却益	136	—
特別利益合計	136	—
特別損失		
固定資産除売却損	7,036	1,005
特別損失合計	7,036	1,005
税金等調整前四半期純利益	2,077,341	1,889,426
法人税、住民税及び事業税	678,542	614,643
法人税等調整額	△35,140	△20,953
法人税等合計	643,401	593,690
四半期純利益	1,433,939	1,295,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,433,939	1,295,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	1,433,939	1,295,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131,668	△2,142
繰延ヘッジ損益	3,357	△30,280
退職給付に係る調整額	9,386	9,642
その他の包括利益合計	△118,925	△22,779
四半期包括利益	1,315,014	1,272,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,315,014	1,272,956

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,077,341	1,889,426
減価償却費	142,781	132,960
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△909	48
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,317	△6,096
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,785	1,760
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,162	△4,947
受取利息及び受取配当金	△9,296	△4,832
為替差損益 (△は益)	△4,082	2,925
有形固定資産売却損益 (△は益)	△136	16
有形固定資産除却損	7,036	988
売上債権の増減額 (△は増加)	△696,100	△739,954
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△725,136	△918,351
仕入債務の増減額 (△は減少)	267,645	164,254
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△169,192	△315,549
その他	△37,981	△68,916
小計	843,275	133,730
利息及び配当金の受取額	12,037	2,733
法人税等の支払額	△911,322	△1,014,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	△56,008	△877,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,700,000	△3,200,000
定期預金の払戻による収入	8,200,000	5,300,000
有形固定資産の取得による支出	△48,206	△117,213
有形固定資産の売却による収入	22,211	—
無形固定資産の取得による支出	△8,172	△17,673
投資有価証券の取得による支出	△793	△862
貸付けによる支出	△4,521	—
貸付金の回収による収入	1,519	1,849
その他	208	△672
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,462,244	1,965,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,970,873	△1,935,059
自己株式の取得による支出	△56	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,970,929	△1,935,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,850	△2,861
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	439,156	△850,303
現金及び現金同等物の期首残高	5,679,086	5,460,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,118,243	4,610,347

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

販売の状況

販売実績

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、市場別情報を記載しております。

市場別 (千円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	前年同四半期比 (%)
コア市場	5,674,062	101.5
(ヘルスケアウェア)	(4,318,071)	(103.1)
(ドクターウェア)	(1,118,664)	(100.3)
(ユーティリティウェア・他)	(236,204)	(81.7)
(感染対策商品)	(1,121)	(70.7)
周辺市場	2,161,545	102.9
(患者ウェア)	(1,443,263)	(103.8)
(手術ウェア)	(718,281)	(101.0)
海外市場	96,294	77.2
合計 (千円)	7,931,902	101.5